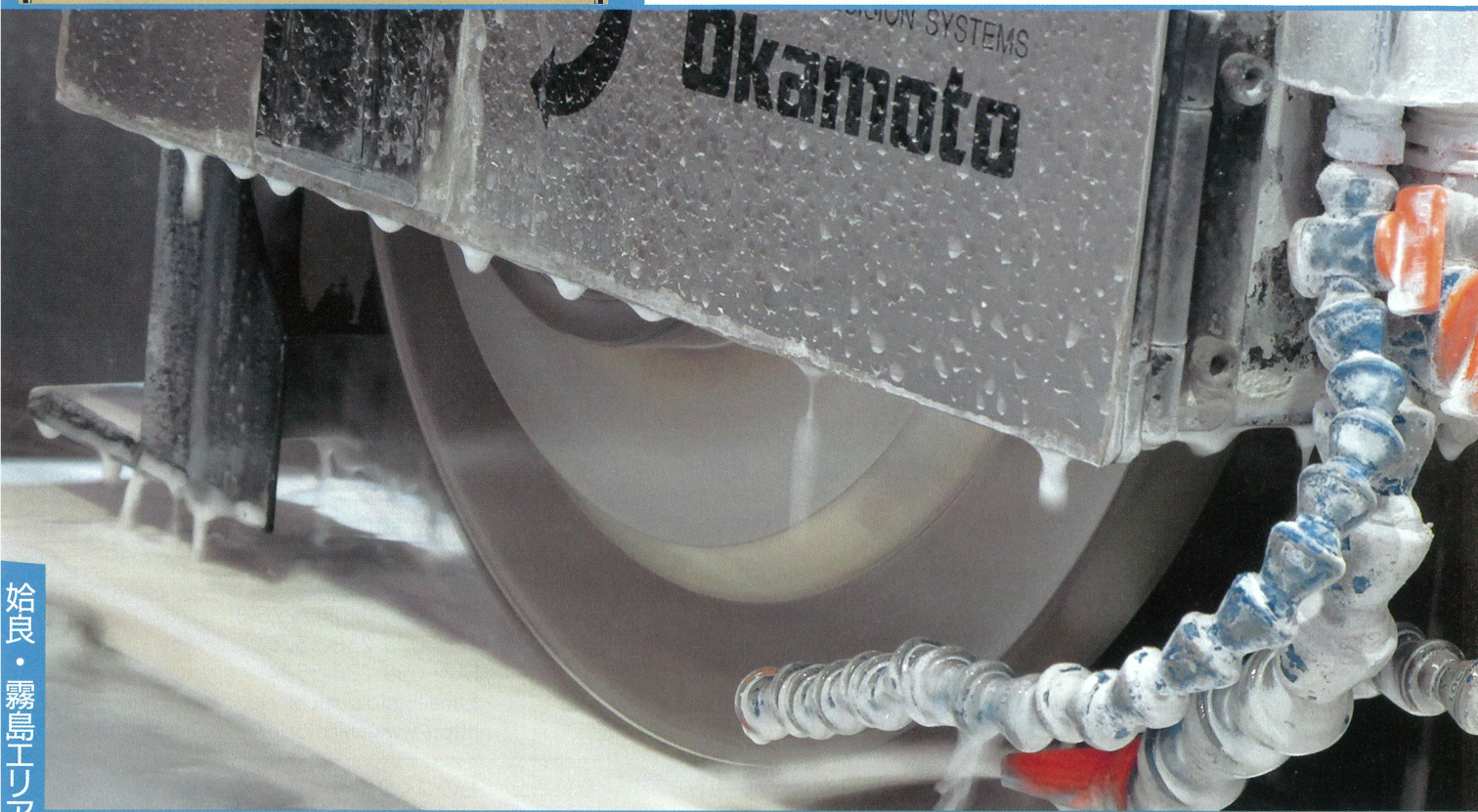




セラミックス等(新素材)の加工を 一貫生産できる加工ラインの構築

平成25年度 補正予算事業

実施した事業の概要と成果

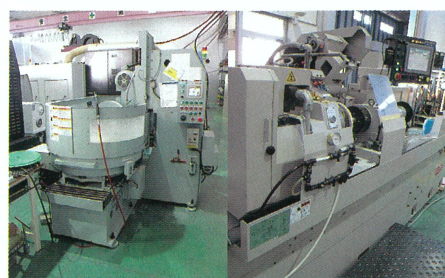
当社の強みである、セラミックスを代表とする難削材の精密加工を受注するに当たり、不足している能力を補強するため、NC精密平面研削盤を導入した。これにより、従来よりも大型、高精度な製品の加工を一貫して受注できるラインが構築できた。

今回の設備導入により、段取り工程や加工工程の一個当たりの時間短縮や、回転数の高速化による切削速度の向上が図れたため、加工コストの削減、利益増を図ることが可能となった。

また、引き続き近隣のお客様にプロモーションを行っている中で、平面研削のみならず、円筒研削、またはロータリー研削の引き合いもいただき、さらなる設備投資の計画を進めている。



グラインディングセンターライン

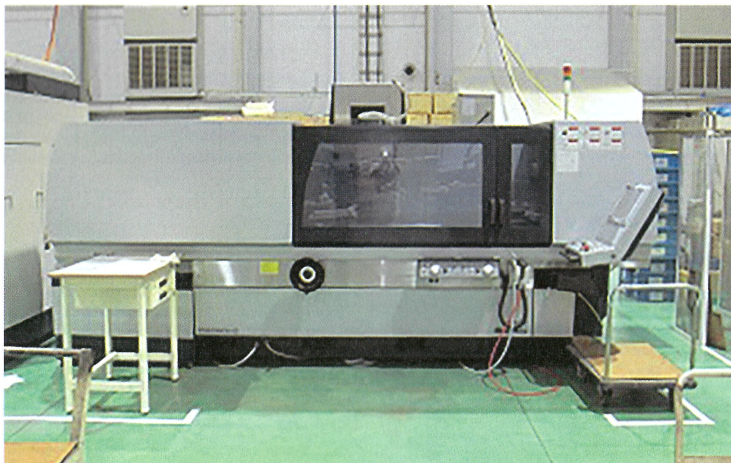


本事業後に導入したロータリー研削盤とCNC円筒研削盤

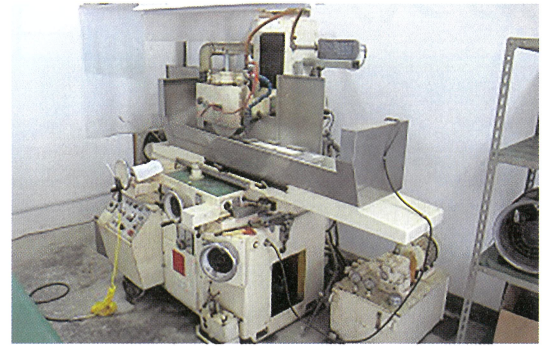


技術開発や課題解決への取り組み

当社は、半導体装置メーカー、新素材メーカー（セラミックス、特殊金属など）等から依頼を受けて加工事業を行っており、セラミックスの一貫加工を目指して各種設備の導入を行っていた。しかし、大型の研削加工機が不足していることから、受注できない案件や加工工程を外注しなければならない案件があった。そこで、課題解決を図るべく大型の研削加工機を導入し、受注体制を整備した。導入したNC精密平面研削盤は、既存機に対してテーブルサイズが面積比で70%も大きく、従来よりも大型、高精度な製品の加工を一貫して受注できるラインが構築できた。



新規導入機 PSG106CA-iQ



既存機 NSG-6HD

事業者 株式会社 アルプスエステック

代表者 代表取締役 刀原 精

設立年月 平成17年11月

所在地等 〒899-6403
霧島市溝辺町三縄578番地6
TEL: 0995-59-1800
FAX: 0995-59-1212

事業区分 ものづくり技術

資本金額 6,000万円

従業員数 44人

業 種 生産用機械器具製造業

株式会社 アルプスエステック の

生魂
いっだまし

取締役 工場長
大田 利之



補助事業取り組みへのきっかけ・目的は？

セラミックスの加工は、総合的に一貫加工を行っている企業が少ないことから、当社ではセラミックスの一貫加工を目指し、これまでも様々な各種設備の導入を行ってきた。しかし、大型の研削加工機が不足していることから、受注できないことや加工工程を外注しなければならないという課題があった。

そこで、設備投資により課題を解決し、遠方の企業への拡販を図ると同時に、加工の内製化による生産性の向上、経営の安定化を目指した。

今後の取り組みは？

近年、セラミックスを代表とする高機能難削材は、スマートフォン・パソコン用ディスプレイの液晶パネルやLED 照明等、あらゆる場面で生活の向上に寄与している。機械導入後、お客様へのプロモーションの結果、NC精密平面研削盤向けの案件のみならず、ロータリー研削盤、円筒研削盤向けの案件でも引き合いを頂いている。そのため、ロータリー研削盤、円筒研削盤についても、既存機よりも大型の装置を導入し、受注体制を強化していく計画である。